

4月から今日まで大切にしてきた 「真心あいさつ」「もくもく掃除」「言葉磨き」

- 【真心あいさつ】 人とのかかわり、表現の原点となるのは、何と云ってもあいさつです。本校では、登下校時のあいさつを特に大事にしています。日々の指導を積み上げることで、あいさつのすばらしさに気が付き始め、あいさつが変わってきた子どもたちがいます。あいさつは子どもたちの一生の財産になると思います。心のこもったあいさつができる子どもたちへ成長してほしいと願います。
- 【もくもく掃除】 もくもく掃除とは、黙って集中して掃除に取り組むことです。自分たちの大切な学校を美しく保つこと、感謝の気持ちをもって磨くことは豊かな心づくりへの一歩と考えます。そして、掃除に取り組むことで身に付く集中力、責任感、段取りを考える力は、学ぶ力の基礎となります。昨年度の取組を経て、黙って掃除に取り組む姿が少しずつ見られるようになりました。今後も「美しい場所には美しい心が宿る」という意識を大切に継続した指導を行っていきます。
- 【言葉磨き】 言葉磨きのために、五つのことに取り組んでいます。
- ① 今月の歌 毎月、今月の歌を1曲設定し、その歌を通し、美しい言葉と出会うようにしています。好きな歌詞、その理由を書かせることで、言葉の力に気づかせるようにもしています。
- ② ことわざカード 毎日一つずつ教室にことわざカードを届け、ことわざを紹介することで、言葉の獲得をめざしています。授業の中や生活の中で、ことわざを用いる子どもたちの姿が見られるようになってきました。
- ③ 三文日記 三年生以上の自学ノートには、三文日記を位置づけています。教師にも子どもたちにも負担にならない文章量で表現力の育成を目指します。少しずつ表現の工夫が見られるようになり、子どもたちの書く三文日記を読むことが何よりの楽しみになってきました。
- ④ ノート指導と交流活動 学習時間には、ノート指導と交流活動を大切にします。ノートには丁寧な文字で、自分の考えをしっかりと整理させます。そして、それをもとに交流活動を展開します。これらの指導を通し、書き言葉、話し言葉を鍛えます。
- ⑤ 感謝の言葉 本校は教育活動を展開するにあたり、地域の方々より多くの御支援をいただいています。地域の方とふれあう活動では、必ず感謝の言葉を伝えることを大切にしています。地域の方のご厚意を当たり前と受け止めるのではなく、感謝の心を育てたいと考えます。

3月にたくさんの成長の姿に出会えるよう、全職員、全児童でがんばっていきます。

※裏もあります。読んでください。

さあ、待ちに待った夏休み！！

自分で作る夏休み、自分に負けない夏休み

いよいよ夏休みです。

今日は1時間目に児童集会を行いました。全員で夏休みの過ごし方を確認しました。子どもたちは、明日から始まる長い休みが楽しみで仕方ないという様子で、瞳をきらきらと輝かせていました。私は、子どもたちの夏休みを充実したものにしたという思いから、いつも「自分で作る夏休み」「自分に負けない夏休み」を合い言葉にお話をしています。今年も、この二つの言葉を使って、夏休みを大切に過ごしてほしいと伝えました。

今年は夏休みの生活リズムを作るため、始まりの1週間に、家庭学習充実週間を設けたいと思います。今日、実践カードを配布しています。こんな長い休みはだらだらと過ごしてはもったいないと思います。自分で起床時刻や就寝時刻を設定したり、学習計画を立てたりしながら、自分だけの夏休みを作ってほしいと思います。

また、実践カードへの記録は1週間で終了しますが、夏休みが終わるまで、自分の怠けたい心に負けないよう、継続して実践してほしいと思います。これが「自分で作る夏休み」「自分に負けない夏休み」の意味です。

しかし、長い夏休みに気持ちを持続させるのは、とても難しいことです。そこでお願いします。子どもたちが怠けたい心に負けそうになっているときには、どうぞ、励ましの言葉をかけてあげてください。保護者の皆様の言葉は子どもたちにとって大きなエネルギーになるはずです。どうぞ、よろしくお願いします。



※家庭学習充実週間の実践カードは、8月6日に提出してください。

注意大敵、今年の暑さは記録的なもの



7月上旬の大雨にも驚かされましたが、梅雨明けの暑さにも危機感を覚えます。こんな暑さは今までに経験したことがありません。熱中症で多くの方が病院へ搬送されていること、亡くなる方もいること等が連日報道されています。先日は、愛知県の小1男児の死亡も報道されました。

「元気だから大丈夫。」と過信せず、屋外でも屋内でも万全の暑さ対策を心がけなければなりません。

夏休みになり、子どもたちは遊びに出かけることが多くなります。帽子をかぶること、水分補給をすること、長時間の外出は避けることなど、くり返し声をかけてください。大人が適切にコントロールし、子どもたちを酷暑から守りましょう。

